
ア・デイ・イン・マイ・ライフ（ビデオボックス→松屋→家）

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ア・デイ・イン・マイ・ライフ（ビデオボックス↓松屋↓家）

【Nコード】

N7366V

【作者名】

ごはんライス

【あらすじ】

2000字エッセイ第一弾です。2000字ブームを「なろう」で起こしたいと思う。

本日は休日だったゆえ、本日の夜の十二時からビデオボックスで
ファイバーしていた。

（つつても、芥川読んで、小説書いて、エロ観てしこつて、笑って
いけないシリーズ観てげらげら笑ってただけだけど）

（関係ないけど、しこつてる途中、地震が起こった。神よ！ ちん
こが縮まりましたよ！！）

ビデオボックスの店員を見てると感じる……。すごい重労働だ。
一人で全部やってるからな。ボックスが全部で21あるから、満
席のとき地獄だな（てか、待ちがあるときもある）

実際、一生懸命で気持ちのいい接客をするお気に入りの店員さん
は、すぐに辞めていく。

確かに給料は、不況の中、なかなかいい。歩合制で、一日一万円
から二万円。好景気の時代ならともかく、不況の時代なら破格。オ
レなんて八時間働いて六千円だよ。昭和かよ。

しかし、前述のとおり、地獄のスケジュールである。

そして、悪い接客の店員はすぐに解雇となる。

オレ個人の意見としては、悪い店員は教育して育てたい。見捨て
たくない。

しかし、ビデオボックスは料金がけっこう高い。だから、高いサ
ービスが要求される。仕方ない。

とはいえ、風俗と比べれば安いわね。だから、繁盛してるので
しょう。

午前八時五十分、ビデオボックスを出る。

近くの松屋へ行く。

オレの好きなおばちゃんがいた。普段、優しくて丁寧な接客をす
るおばちゃんだ。

……荒れていた。若いバイトをむちゃくちゃに怒鳴っていた。客がものすごく、店員が少ない。すごく忙しそうだ。荒れに荒れていた。

実にわかる。オレも非正規だから。

学生ならいいだろう。生活費は親が払ってくれる。単に遊ぶ金を稼ぐためにバイトしてるに過ぎない。

しかし、社会人は生活費を自分で稼がないといけない。

にも関わらず、低賃金。おまけに、非正規には各種保険も交通費もボーナスも社員旅行もない。オレの場合は、長期休暇もない。

（正社員が一週間休んだときは、真剣に殺そうと思った）

こうなるとあまりに苦しく、自然に接客が荒れる。

しかし、やはり、いい店員は続けてほしいし、悪い方向に行つてほしくない。

ここで特攻隊を思い出す。

国や愛する人を守るために敵艦に突っ込んだご先祖様……。

世間ではバカにされてるけど、今こそ特攻精神が必要な気がする。慢性的な不景気時代だ。

人件費を増やすと、設備投資費に回せず稼働できず、

仕事を楽にさすと、競争が激しいからすぐ他社に出し抜かれて倒産する。

となると、

低価格でよいサービスをお客様に提供するには、

非正規労働者が低賃金重労働に耐えるしかない。

それには、やはり、特攻精神が必要だ。自分のためにはならぬが、世のため人のためにがんばる……。

しかし、いま、自殺者が年間三万人いる、と数年前に読んだ。

しかし、聖騎士さんに聞いたら、去年は五万人だという。

気になって新聞を読んだら、昨年度の児童の自殺者数は147人だという。

ふうむ。

特攻精神もやばいか。

まあ、好景気の時代も実は自殺あったな。バブルのときなんて、仕事量がすごくて残業残業残業。

過労死とか多かった。

バブル直後は借金苦による自殺だな。

話飛ぶけど、非正規労働者が一七〇〇万人もいるのが許せないなあ。全労働人口の三分の一。一九八五年の段階だと六〇〇万人。

階層ができるのは悪くない。

十年働いてる社員と、十日間から一ヶ月だけ働く学生が同じ給料じゃおかしい。

けど、十年働いてる正社員と十年働いてる非正規に、こんなに所得に差ができるのは理不尽だ。

無論、正社員の仕事量がすげえのはわかってる。だから、差ができるのはいい。当たり前。

問題は、差が開き「すぎ」ってことなんだ。実は非正規の仕事量もものすげえ。

芥川が自殺する直前に書いた狂った掌編群「歯車」を今読んでるのは、こういうことを普段考えてるからかもな。

社会主義革命を起こせ！

資本主義はもう古い！

と、リープの活動報告に書き込んだら、

「アカになりやがったな！　こうなりやもはや赤飯ライスだ！　母さん！　ごはんライスに赤飯を用意しなさい。ついに女性になったよ！」みたいな（意識）返信がきた。

オレは、小学生のとき「はだしのゲン」を読んで以来、アカであつたが、

成人してから、極右漫画家よしりんの影響を受け、大東亜戦争肯定論者となり、

自由共産党を除名された。

リープは、わいは青になるんや、青春文学を書くんや、青リープ
やん泣けるやん（意識）みたいなことを書いていた。

ふむ。青は、青春のほかに、空、海など広いイメージがある。

そして、海の方こう、アメリカでは、ブルースというすぐえ音楽
を黒人たちが

やり始めてるといふ。わくわくする。

ちなみに、ダウNTOWN松本の初監督作品「大日本人」で、
大日本人は赤い怪物（北朝鮮がモデルだろう）にボツコボコにされ
てる。

そして、赤い怪物は、ウルトラマン的なやつら数人
アメリカがモデルである

にボツコボコにされてる。

一切、国名を挙げてないところが松本の立場を示す。

我々、素人なら好き勝手言えるが、松本ほど有名になると、影響
力が高まるからへたなことを言えない。

でも芯の部分表現するのは大したものだ。

よしりんはメジャーであるが好き勝手言ってる。松本のフィール
ド、テレビより、よしりんのフィールド漫画が影響力が少ないため
だろう。

それでも、部数がすごい。大したものだ。あの内容であの部数は。
2000字を越したので、オチがないけど、ここまでとします。
ありがとございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7366v/>

ア・デイ・イン・マイ・ライフ（ビデオボックス→松屋→家）

2011年8月13日03時29分発行